

石神中学校だより



第 13 号

発行日：平成31年2月28日（木）

【教育目標】

- ・自ら学習する生徒
- ・正しく判断できる生徒
- ・健やかな生徒

発行者 校長 高橋知宏

日英交流事業、口セッット校生来校！

昨年11月、本校訪英団（生徒11名と教師2名）が姉妹校であるイギリスの口セッット校を訪問した際に、ホームステイで受け入れてくれた口セッット校生13名と先生2名が、2月16日（土）に来日し、訪英団生徒宅に19日までホームステイしました。



【2月16日（土）】

皆さんは、16：40、原ノ町駅に到着し、バスで本校へ。訪英した生徒たちと握手をしたり、抱き合ったりしながら再会を喜び、その後、ホームステイ先へ向かいました。

【2月17日（日）】

ホームステイ先の家族の皆さんと、市内外の観光、ショッピング、ボウリング、餅つきなどの活動を通して交流を深めました。

【2月18日（月）】

1校時に口セッット校生と先生方の歓迎式を行いました。口セッット校生の日本語での自己紹介と歌（メリーポピンズより“スーパー・カリフラジリスティックエクスピアリドーチャス”）の発表、石神中生の英語による学校紹介の後、交流のための活動として玉入れを行い楽しい時間を過ごしました。3校時、口セッット校生は被服室において英国訪問団の生徒達とともに須田先生と遠藤先生による書道体験学習に参加し、愛、海、絆、風、道、桜、望、創、響、楽、夢などの漢字を毛筆で書くことを通して日本文化に親しみました。4校時は、各教室で社会、技術、美術、理科、数学の授業に参加し、昼食時には石神中生と一緒に給食を食べ談笑し交流を深めました。

午後は銘醸館で甲冑着付けを体験しました。戦国武将や足軽の衣装、甲冑を身につけて相馬野馬追の歴史に触れました。また、南相馬市役所を訪れ、南相馬市長様、教育長様と「来日するにあたって楽しみにしてきたこと」「一番思い出に残った場所」「美味しい食べ物」などについて懇談しました。



歓迎式「歌の発表」



歓迎式「玉入れ」



書道体験

【2月19日（火）】

8：30、原ノ町駅前の市民情報交流センター前に集合。生徒達、保護者の皆さんは記念写真を撮ったりするなどして名残を惜しました。8：52、訪問団一行は仙台を経由し東京に向けて原ノ町駅を出発しました。



各教科の授業参加



各学級での給食



甲冑着付け体験

この交流を通して、さらに口セッット校と石神中の相互の友情と文化交流の絆が深まったと思います。今後、この経験をいかし、多くの世界に羽ばたく人材が、石神中生の中から生まれることを期待しています。

口セッット校との交流事業にあたっては、ホームステイ先の家族の皆様、石神日英交流協会の皆様、区長会の皆様等、多くの方々のご協力をいただき、成功裏に終えることができました。深く感謝申し上げます。

○歓迎式ではマーク先生とニコル先生から日本語で挨拶をいただきましたので紹介します。

「先生方、生徒の皆さんおはようございます。私はマークです。こちらはニコル先生です。私は石神中学校の訪問は2回目です。ニコル先生は初めてです。2年前訪問した時、日本や日本の学校の素晴らしさを知りました。石神中学校の生徒の皆さん、皆さんの先生は素晴らしい先生方ですね。私たちは石神中学校に訪問することができとても嬉しいです。これからも学校間の歴史を刻んでいけることを光栄に思っています。この交換留学に参加できることは旅行ではありません。私たちにとっても大きな意味があります。地球のほぼ反対にある私たちの学校間の絆はとても大事です。石神中学校で過ごせる時間を本当に楽しみにしています。校長先生をはじめ先生方、生徒の皆さん、関係者の皆さん、どうかよろしくお願ひいたします。」